

イタ（お盆）とメノコイタ（まな板）

イタは手彫りの木のお盆で、家で物や食事を運ぶときに使われます。お盆はそれぞれ、2～3年間乾燥させた一本の木を彫って作ります。乾燥させることで、徐々に形が反っていきます。また、木材が乾き、反ることで、複雑な模様やデザインを彫刻することが可能になります。さらにその後何年間も形が歪むことを防ぐこともできます。デザインにはそれぞれの木材の自然な素材感が反映され、精神的な意味も込められます。彫刻の模様は植物や水、動物など、自然界にあるものに基づいており、悪霊を追い払うために宗教的なモチーフがデザインされたイタも存在しています。

イタには様々な種類があります。イタの中でも大きなものはメノコイタと呼ばれます。平らで装飾が施されていない部分はまな板としての機能があり、食事の準備や提供に使われます。精巧にくりぬかれた部分は、とりわけ用のボウルとして使うことができます。